

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 9 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	3871100263		
法人名	社会福祉法人 北条福祉協会		
事業所名	グループホーム なぎさ		
所在地	松山市北条辻1170番地22 (電話) 089-992-0888		
管理者	青木伸夫		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 9 月 4 日	評価確定日	平成 19 年 10 月 25 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 2 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 13 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 14.3 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有()円	○ 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護 1	2 名	要介護 2	5 名
要介護 3	5 名	要介護 4	4 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 86 歳	最低 71 歳	最高 100 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	あり	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

東西に縦長い平屋建てのホームで、南には川があり、西側の海岸からは自然の涼風が心地よい。東には雄大な高縄山を眺望でき、静かで落ち着いた環境である。利用者がその人らしく暮らしていけるよう、アセスメントを詳細に蓄積し、利用者本位の介護計画を作成している。、管理者と職員は、質の向上のため改善課題に意欲的に取り組み、関連施設での介護教室にも参加し、介護の技量も向上させている。利用者にとっておいしい食事の提供は重要と考え、新鮮な食材を使用するため、魚、肉、野菜をそれぞれ専門店から仕入れている。また、楽しみごとにも配慮し、野菜作り、歌、外出、買い物等、利用者の希望に沿った支援をしている。その様子を「ホーム便り」に写真や文章で綴り、各方面に配布し、事業所や利用者を理解してもらう上で役立っている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
 前回評価で、運営理念の具体化と掲示、介護計画の見直し期間の変更、確実な申し送りのための確認サイン等7つの項目について改善課題が挙げられた。管理者は改善計画を立て、職員と話し合い、全員で積極的に改善に努めている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
 自己評価項目を職員全員で分担し、それぞれが自己評価したものを基に職員会で意見を出し合い、計画作成担当者と管理者がまとめ上げている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
 平成18年6月から2か月に1回開催し、事業所の取り組みや避難訓練、地域交流、自己評価及び外部評価等について話し合われ、メンバーからサービスの質の向上につながる建設的な意見が多数出されている。事業所からも災害時に地域の協力が得られるよう働きかけ、地域とのつながりが徐々に広がっている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
 家族の来訪時には必ず声をかけ、利用者の様子を伝えている。気軽に要望が言えるような雰囲気づくりに努めており、家族からの意見は会話の中からもよく出されている。家族の希望に沿えるようできる限りの支援をしている。また、健康に関することは家族と連絡を取り、家族の意向に沿って支援している。受診介助した時は必ず結果を報告している。

▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
 運営推進会議をきっかけに、地域の祭りへの参加、いきいきサロンを事業所に招いての転倒・骨折防止教室の開催等によりつながりができた。今後は家族会の行事のいもたきに地域の方々にも声をかけ、交流する予定である。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。
(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホームなぎさ
(ユニット名)	せと
記入者(管理者)	
氏名	青木 伸夫
評価完了日	平成 19 年 7 月 31 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 昨年度の外部評価の指摘により改正し、地域交流を加えてつくりあげている。 (外部評価) これまでの理念を見直し、地域密着型サービスの必要性を理解し、利用者が穏やかな環境の中で安心して暮らしていけるよう「地域との交流」「穏やかな環境と安全安心の確保」という、分かりやすく覚えやすい理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 管理者と職員全員理念を共有し、その実施に日々取り組んでいる。 (外部評価) 各ユニットに理念を大きく掲示し、管理者と職員は新しく具体化した理念を共有している。理念を簡潔にしたことで意識しやすくなり、常に理念に立ち返って、利用者へのケアの際に活かしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 家族会を通じて理解してもらったり、来訪者には見えるように掲示している。又広報紙に掲載している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 組入りし、隣近所の人と気軽に声を掛け合っている。気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な付き合いはまだまだこれからである。	※	回覧板を廻してくれるので、組の行事や計画がよくわかる。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の一員として組入りし、回覧板を廻してくれたり、総会には参加したり、清掃活動を行なう等交流に努めている。 (外部評価) 以前から組に入って、川清掃に職員が参加する等の交流はあったが、運営推進会議をきっかけに、地域の祭りに利用者と参加したり、近隣の施設の盆踊りに出かけたり、いきいきサロンの方を招く等徐々に交流が広がっている。家族会の行事であるもたきに、今年は地域の方にも声をかけ、参加してもらう予定である。	※	8月20日に地域の赤大師地蔵のお祭りがあるので、参加を計画している。 ホームに地域の方が日常的に訪れたり、地域の保育園や小学校等の子ども達と交流するなど、さらにつきあいが広がることを期待する。いきいきサロンの方を招く交流もさらに深まるよう今後も続けてほしい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 介護相談や介護関連教室を開催し、地域から参加していただくなど、地域に役立つよう取り組んでいる。	※	6月25日に地域のいきいきサロンの方々8名の参加を得て、転倒骨折防止教室を開催した。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 運営者、管理者、職員共自己評価、外部評価の意義を理解し協力しながら改善に取り組んでいる。 (外部評価) 前回の外部評価を活かし、改善計画を立て、全職員で話し合っ積極的に改善に取り組んでおり、その成果がうかがえる。また、自己評価は職員が分担して評価し、それを基に全員で意見を出し合い、管理者と計画作成担当者がまとめ上げている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 18年6月より、2ヶ月に1回開催し、そこでの意見をサービス向上に役立てている。 (外部評価) 運営推進会議は平成18年6月から2か月に1回開催し、ホームの取り組みを報告している。メンバーから、地域の人にホームの職員であることを知ってもらうため、ユニフォームの色を統一してはどうか等建設的な意見が出され、積極的に取り入れている。いきいきサロンとのつながりができたのも運営推進会議がきっかけとなっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市担当職員の実習を受け入れるなど連携し、サービスの向上に取り組んでいる。 (外部評価) 市から依頼され、市担当者の実習を受け入れている。また、いきいきサロンの方を招いて、ホームの看護職員が講師となり、「転倒・骨折防止教室」を開き、市の事業にも協力している。	※	7月3日に市担当職員の実習を受け入れ、感想を聞いたので、今後の参考にする。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員会において、地域権利擁護事業や成年後見制度について勉強会を持ち必要な場合活用出来るよう準備している。	※	玄関に成年後見制度のパンフレットを用意し、一般の方の要請に備えている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者虐待防止について、全職員が注意を払い、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は十分な説明を行い、不安、疑問を洗い出し、理解と納得をえている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、不満等に耳を傾け、気軽に話せるようにして運営に活かしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族へはあらゆる機会をとらえ個々に合わせて報告している。 (外部評価) 面会時に声をかけ、利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理について個別に報告している。家族に郵送している季刊の「ホーム便り」は、利用者の写真を多数掲載しており、ホームでの様子が良く分かる。また、面会がない場合でも受診の連絡等を電話や手紙で行っている。職員の異動については、家族会の総会時に報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等が気軽に意見、要望、不満等を云えるように受付箱を設ける等機会をつくり、運営に生かしている。 (外部評価) 受付箱にはあまり要望等入っていないが、話しやすい雰囲気づくりに努め、口頭で要望を聞いて対応している。家族会及び処遇検討会で意見を述べることができるよう配慮している。また、苦情受付先を事業所内と第三者機関に分けて重要事項説明書に明記している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年2回人事考課を行い、職員の意見、提案等を受け入れ、反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務については、勤務表を作り、利用者、家族等の状況変化に応じ柔軟に対応するよう努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動は最小限にし、利用者へのダメージを防いでいる (外部評価) 運営法人内他施設への異動や、退職もあるが、馴染みの関係が大切なことを充分考慮し、最小限に抑えている。職員が代わる場合は、事前に利用者へ説明しており、今のところダメージを受けている様子は見られない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修への参加の機会を積極的につくり、報告会を持つ等して職員の育成に努めている。 (外部評価) 月1回、運営法人内で介護教室が開かれ、夜勤者以外は全員参加している。ホーム内でも月1回勉強会を開いて研修報告等をしている。中予グループホーム協会の新任職員研修も受講している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 北条地区のサービス調整会議に管理者が参加し、ネットワークづくりやサービス向上の取組みをしている。 (外部評価) 月1回、地区の8事業所の管理者が集まり、サービス調整会議を開き、ネットワークづくりに努めている。また、愛媛県グループホーム連絡協議会の相互研修に職員が参加し、他のホームとの交流も図られる予定である。	※	今年度GHの相互研修の参加を予定している。9月頃実施予定。
21		○職員のストレス軽減に向けた取組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の悩みや意見を取り入れストレス解消に努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 人事考課等を活用し、各人が向上心を持って働き続ける取組みをしている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居事前面接を行い、本人の不安や希望を聞き受け止める努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族にも事前面接を行い、思いをよく聞き受け止めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けたとき、必要な対応をとることになっている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) カンファレンス等を行い、家族と充分相談し、本人が雰囲気に徐々に馴染めるようにしている。 (外部評価) 入居申込前に見学があり、申込時に管理者と計画作成担当者が自宅を訪問し、本人と家族に面会する場合と、ホームで面接する場合がある。入居後、不穏がある場合は、家族の協力を得て自宅に外出する等、徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の喜怒哀楽を共にし、昔のことを教えてもらったり、共に支え合う関係をつくっている。 (外部評価) 花、野菜作りで、耕し方や肥料・水の量等利用者の過去の経験を教えてもらう場面をつくっている。職員の感謝の言葉に笑顔で返事が返ってきた時や、職員の帰り際「また明日も来てくれる」と尋ねられた時には、心が癒されるという話を聞いた。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との関係を密にし、一緒になって本人を支えていくよう務めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族の関係の理解に努め、良い関係づくりを進めている。	※	介護計画の作成、ケアカンファレンスに家族の参加を呼びかけている。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人のこれまでの馴染みの物、人、場所等をよく知り、大切にしよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人ひとりが孤立しないよう皆で一緒に行事を行ったり、外出したりして、共に過ごせる時間を持ち支え合っている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居した後も関わりを必要とする場合は大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向や希望をよく聞き把握に努め、本人本位に活かしている。 状態変化に応じた随時の見直しも行っている。 (外部評価) 包括的自立支援プログラムを使って詳細なケアチェックをし、利用者の希望や意向を汲み取っている。センター方式の研修を受講し、アセスメントシートを少しずつ取り入れようと準備している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活歴や馴染みの暮らし方を聞き取り把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 生活リズムの理解と全体像を把握するよう努めている。又役割を持ってもらい、力を発揮している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアカンファレンスには家族の参加をお願いし、本人、家族、関係者の意見を取り入れ、介護計画を作成している。 (外部評価) ケアチェック表を基に、担当者と計画作成担当者で介護計画を作成し、処遇検討会で他の職員の意見を取り入れている。利用者本位の介護計画を作成するため、処遇検討会には本人に出席してもらい、意見を聞いている。また、家族にも参加を呼びかけ、3分の1ぐらいの家族が話し合いに参加している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の見直しは3ヶ月毎とし、本人、家族、関係者の意見を取り入れ、新たな計画を作成している。状態変化に応じた随時見直しも行っている。 (外部評価) 担当者は毎月モニタリングをし、3か月ごとに介護計画を見直している。その際、リハビリや排泄、血圧、ケアプランのチェック表も見直しに役立っている。また、状態変化がある場合は随時見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別ファイルを作成し、記録して情報を共有し、介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の状況により要望に応じて支援している。 (外部評価) 協力病院への受診介助をしている。ショートステイの指定を受けており、利用者の退居から新しい利用者の入居までの間、空室を利用する予定であったが、現在空室はなく、待機者も多いため、利用はされていない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員、警察、消防等と協力体制をとっているが、充分とはいえない	※	今後ボランティア、文化、教育機関とどう協力していくか検討する。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスを受けるまでには至っていない		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じて地域包括支援センターと協働している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族等の希望を入れ適切な医療を受けられるようにしている。 (外部評価) 運営法人の理事長がかかりつけ医になっており、毎日訪れて利用者の健康やリハビリに気を配っている。ただし、家族の希望があれば希望する病院を受診できる体制である。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近くに専門医療機関があり、診断や治療が受けられるようになっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、健康管理や医療活用を行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力医療機関と連携し、情報交換しながら早期退院に向け相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合のあり方について、早くから家族と話し合い方針を共有している。 (外部評価) 本人、家族の意向に沿って、ホームができる限りの支援をしている。重度化した場合や終末期のあり方については、早期に家族と話し合い、方針を決めているが、状況の変化があればその都度家族と話し合い、意向を確認している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医師と共に変化に備えての対応を検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 別の居所へ移る場合は、十分な話し合いを行いダメージを防ぐ努力をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーの確保に努め、記録等の個人情報には充分注意を払っている。 (外部評価) ホームの取り組みを知ってもらうため、家族の同意を得たうえで「ホーム便り」を警察、消防署、市役所、関連施設、近隣のホーム、運営推進会議のメンバー、法人理事等に配布している。昼食時、粉薬を飲む場面や濡れた衣服を交換する場面で、利用者の誇りを損ねない声かけがされていた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望をよく聞き、納得と理解のいく説明と支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の希望を最優先して、本人のペースを大切にしながら支援している。 (外部評価) 利用者の希望に沿って、買い物に出かけたり、外出傾向のある方には後ろから見守ったり、入浴拒否の方には時間を置いて誘うなど、利用者本位の生活を支援している。昼食後はテレビ観賞する利用者もいれば、職員と談笑する利用者もいて、思い思いに過ごしている様子がうかがえた。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るよう支援している。散髪は月1回業者が来て行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の意見や希望をよく聞き、食事作りに活かし、職員と一っしょに食べている。後片付けも出来る方は手伝いをしている。 食事作りで、材料の下ごしらえ等出来ることはしている。 (外部評価) 鮮魚店、精肉店、八百屋から新鮮な食材を仕入れ、利用者の希望を取り入れながら食事を作っている。準備、下膳、台拭き、食器拭き等利用者ができることを手伝い、職員は感謝の言葉をかけている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の望むものを聞き、別に預かり、日常的に楽しめるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) プライバシーに配慮しながら一人ひとりに合わせた気持ちよい排泄が出来るよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望を聞きながらタイミングに合わせて入浴を楽しんでもらっている。 (外部評価) 基本的に週3回入浴している。一方のユニットにリフト浴の設備があり、車いすの利用者も湯船に浸ることができる。体調や利用者の意向で入浴できない時は翌日に変更する等、柔軟に対応している。以前、夜の入浴希望を尋ねたところ、特に希望がなかったため、昼間の入浴としている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの生活習慣を把握し、安心して休息したり、眠れるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意なことを見つけ出し、それを活かしたり、役割を持ってもらうよう支援している。 (外部評価) 野菜作り、食器拭き、洗濯物たたみ等一人ひとりに合った役割を見つけて支援している。読書や習字、塗り絵等の楽しみごともあり、ボランティアの演奏するピアノ等に合わせ歌を歌ったり、点ててもらった抹茶を飲んだりして、楽しい時間を過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員は本人がお金を持つ事の大切さを理解し、買い物時は本人にお金を支払ってもらうようにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 外出の機会があれば本人の希望を聞きながら偏りなく外出が出来るよう支援している。 (外部評価) 隣の大きな学習塾のテラスを借りて、車いすの利用者も一緒にボール遊び等楽しんだり、散歩に出かけたりしている。また、買い物や近くの喫茶店、ドライブへも時々出かけて気分転換している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 行事係りが外出行事の計画を作り、家族にも呼び掛ける等外出の機会を増やし支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族や知人に本人から電話したり、手紙を出すなどの支援をしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族をはじめ馴染みの人達が気軽に立ち寄れるよう雰囲気づくりをしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について勉強会を行い、運営者及び全職員が意思統一して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は無断外出しようとする利用者をさりげなく誘導し、居室や玄関に鍵を掛けないケアに取り組んでいる。 (外部評価) 日中は鍵をかけず、玄関のセンサーで外出を察知し、場合に応じてさりげなく誘導したり、後ろから見守ったりしている。運営推進会議で地域包括支援センター職員のアドバイスを受け、目立つ色の履物に変えて、地域の人からの協力を得られるよう配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の安全・安心には細心の注意を払い、さりげなく居場所を確認し、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全てを除去するのではなく、保管方法を取り決め、利用者の状態に応じて取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) あらゆる事故を想定し、マニュアルを作り、知識を学んでいる。又ヒヤリ・ハットの活用もしている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 介護教室や勉強会により、事故発生時の対応が出来るよう訓練を行なっている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時近隣の応援体制が得られるよう働きかけている。 (外部評価) 年2回利用者と共に避難訓練を実施している。今年は11月に地域の方と一緒に訓練する予定である。海岸側にあるため、津波の危険を考慮して地震を想定した避難訓練も実施し、すばやく避難場所へ移動できている。緊急時には地域の人々の協力を得られるよう区長へも連絡を入れるように緊急連絡表を作成している。	※	避難訓練には地域から見学に来た。 今年11月の訓練は合同で訓練を行う予定。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりのリスクについて家族と相談し、説明をして抑圧感のない対応策をとっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常の観察を重視し、変化をグラフ化する等して見逃さず報告し、対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬について全職員が理解し、症状の変化の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便表を作り便秘の原因追及に努め、飲食物の工夫や体を動かす工夫をして便秘の予防に努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨きや就寝前の歯磨きを行なう等支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量を記録し、一人ひとりに合った支援をしている。 (外部評価) 関連施設の管理栄養士に栄養摂取量を専門的にチェックしてもらっている。食事の量や水分量を記録し、腎臓病、糖尿病、便通の悪い方には、それぞれに合った量を摂取できるよう支援している。水分量を確保するため、おやつに飲み物を出している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染防止マニュアルを作成しており、実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、調理器具の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材を使用し、食中毒の予防に努めている。 手洗いの励行も行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口に手造りの案内板を設置し、プランターを置く等して親しみやすく気軽に立ち入りができるよう工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共用空間で利用者が心地よく過ごせるよう季節感を取り入れ工夫している。 (外部評価) ホームは東西に細長い建物で、南北の大きな窓から自然の採光が得られ、明るい。居間は広々としており、座り心地の良さそうなソファや背もたれが長いイスが並べられ、ゆったりくつろげる。また、二つのユニットの中央にあるホールにはピアノやエレクトーンが置かれ、レクリエーションの場になっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間を広くとり一人ひとりが思い思いに過ごしたり、利用者同士で過ごしたり出来る工夫をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅から使い慣れた物を持ち込んだり、お孫さんの作った物を持ち込んだりして、居心地よく過ごせる工夫をしている。 (外部評価) ひ孫の写真を飾っている居室、観葉植物や使い慣れた筆筒を置いている居室等、利用者一人ひとりに合った居室になっている。また、転倒の恐れのある利用者の居室にはセンサーマットを置くなど転倒防止の工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 臭いや空気のだよみがないよう、空気の入替え、温度調節をこまめに行なっている。 冬は床暖房をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者の身体機能を生かして自立した生活が出来るよう工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 利用者のわかる力を大切に考え、自立した生活が出来るよう工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の回りには植木があり、庭に花や野菜を造り、楽しめるよう取り組んでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いや願いを気軽に話せる雰囲気があり、全員について意向を掴んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	職員は利用者とはゆったりと過ごすことを考えており、努力している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の生活のペースを職員が強制するのではなく安全を念頭に置きながら一人ひとりの生活のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の支援で生き生きした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望に耳を傾け、出来るだけ希望を叶えている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護職員を配置し、理事長（医師）の指示のもとに健康管理を行っており、医療面の不安はない、安全面では、職員が配慮し、不安なく過ごしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者から意見や要望を聞き出し柔軟に支援しており、安心して暮らしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族会、家族会合同行事、ケアプラン立会等により、不安なことや求めていることをよく聞き信頼関係が出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	慰問を初め地域からいつでも気楽に来て頂く雰囲気にあり、訪ねて来てくれる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	平成18年6月より2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、地域より代表者3名の参加を得て徐々に地域の理解者が増えている。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	平成18年度の退職者は1名で職員は生き生きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の聞き取り調査から見て、おおむね満足していると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	H18年度の苦情は1件あり、ご家族の意向にそって解決した。その他はおおむね満足していると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

なぎさを一步西へでれば瀬戸内海の潮騒と遊歩道、目の前には鹿島、東には高縄山の雄姿がほっと安らぎを与えてくれる。このような位地になぎさはあります。利用者が一番楽しみにしている食事について、美味しい食事づくりを目指して、魚は鮮魚点、肉は精肉店、野菜は八百屋から新鮮な野菜を仕入れ、味付けは利用者の経験を聞きながら美味しく作っています。

地域との関係を深めながら「穏やかな環境づくり」を進め、家庭的で安全、安心のある楽しい日々を過ごしています。

健康管理や受診について、家族との連携を密にして、家族の意向にそって受診を行なっている。又、将来の重度化を考え、早い段階から終末期のあり方について方針を共有している。

今年はトマトやピーマン等の野菜作りを行い、6月中旬には初収穫しました。家族会と合同の行事(いもだき会、忘年会)等も大きな楽しみの行事として定着しています。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホームなぎさ
(ユニット名)	たかなわ
記入者(管理者)	
氏名	青木 伸夫
評価完了日	平成 19 年 7 月 31 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 昨年度の外部評価の指摘により改正し、地域交流を加えて作っている。 (外部評価) これまでの理念を見直し、地域密着型サービスの必要性を理解し、利用者が穏やかな環境の中で安心して暮らしていけるよう「地域との交流」「穏やかな環境と安全安心の確保」という、分かりやすく覚えやすい理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 管理者と職員全員が理念を共有し、その実施に日々取り組んでいる。 (外部評価) 各ユニットに理念を大きく掲示し、管理者と職員は新しく具体化した理念を共有している。理念を簡潔にしたことで意識しやすくなり、常に理念に立ち返って、利用者へのケアの際に活かしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 家族会を通じて理解してもらったり、来訪者には見えるように掲示している。又広報紙に掲載している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 組み入りし、隣近所の人と気軽に声を掛けあっている。気軽に立ち寄ってもらえるまでにはまだ至っていない。	※	回覧板を廻してくれるので、組の行事や計画がよくわかる。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の一員として、組み入りし、総会に参加したり、清掃活動を行なう等交流に努めている。	※	8月20日に地域の赤大師地蔵のお祭りがあるので、参加を計画している。
			(外部評価) 以前から組に入って、川清掃に職員が参加する等の交流はあったが、運営推進会議をきっかけに、地域の祭りに利用者と参加したり、近隣の施設の盆踊りに出かけたり、いきいきサロンの方を招く等徐々に交流が広がっている。家族会の行事であるいもたきに、今年は地域の方にも声をかけ、参加してもらう予定である。	※	ホームに地域の方が日常的に訪れたり、地域の保育園や小学校等の子ども達と交流するなど、さらにつきあいが広がることを期待する。いきいきサロンの方を招く交流もさらに深まるよう今後も続けてほしい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域のお年寄りの方に来て頂き、介護関連教室を開催し、地域に役立つよう取り組んでいる。	※	6月25日に地域のいきいきサロンの方々8名の参加を得て、転倒骨折防止教室を開催した。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 運営者、管理者、職員が自己評価について話し合い、意義を理解し、改善に取り組んでいる。		
			(外部評価) 前回の外部評価を活かし、改善計画を立て、全職員で話し合っって積極的に改善に取り組んでおり、その成果がうかがえる。また、自己評価は職員が分担して評価し、それを基に全員で意見を出し合い、管理者と計画作成担当者がまとめ上げている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 18年6月より開催し、そこでの意見をサービス向上に役立てている。 (外部評価) 運営推進会議は平成18年6月から2か月に1回開催し、ホームの取り組みを報告している。メンバーから、地域の人にホームの職員であることを知ってもらうため、ユニフォームの色を統一してはどうか等建設的な意見が出され、積極的に取り入れている。いきいきサロンとのつながりができたのも運営推進会議がきっかけとなっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市担当者の実習を受け入れる等連携し、サービスの向上に取り組んでいる。 (外部評価) 市から依頼され、市担当者の実習を受け入れている。また、いきいきサロンの方を招いて、ホームの看護職員が講師となり、「転倒・骨折防止教室」を開き、市の事業にも協力している。		7月3日に市担当職員の実習を受け入れ、感想を聞いたので、今後の参考にする。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 地域権利擁護事業や成年後見制度について勉強会を持ち、必要な場合に備えている。	※	玄関に成年後見制度のパンフレットを用意し、一般の方の要請に備えている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者虐待防止について学び、全職員が注意を払い、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は重要事項説明書、利用契約書の説明をして、理解、納得を得ている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、不満、苦情等を聞き出し、運営に活かしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族会、面会時等を通じて個々に合わせて報告している。 (外部評価) 面会時に声をかけ、利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理について個別に報告している。家族に郵送している季刊の「ホーム便り」は、利用者の写真を多数掲載しており、ホームでの様子が良く分かる。また、面会がない場合でも受診の連絡等を電話や手紙で行っている。職員の異動については、家族会の総会時に報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等が気軽に意見、不満、苦情をいえるようご意見箱を設置し、運営に生かしている。 (外部評価) 受付箱にはあまり要望等入っていないが、話しやすい雰囲気づくりに努め、口頭で要望を聞いて対応している。家族会及び処遇検討会で意見を述べることができるよう配慮している。また、苦情受付先を事業所内と第三者機関に分けて重要事項説明書に明記している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年2回人事考課を行い、職員の意見、提案を聞き、反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務については、勤務表を作り、家族、利用者の状況の変化に応じ柔軟に対応している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動は最小限にし、利用者へのダメージを防いでいる。 (外部評価) 運営法人内他施設への異動や、退職もあるが、馴染みの関係が大切なことを充分考慮し、最小限に抑えている。職員が代わる場合は、事前に利用者へ説明しており、今のところダメージを受けている様子は見られない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修への参加は積極的に機会をつくり、報告会を持ち、職員の育成に努めている。 (外部評価) 月1回、運営法人内で介護教室が開かれ、夜勤者以外は全員参加している。ホーム内でも月1回勉強会を開いて研修報告等をしている。中予グループホーム協会の新任職員研修も受講している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 北条サービス調整会議に管理者が出席し、ネットワークづくりやサービス向上の取り組みをしている。 (外部評価) 月1回、地区の8事業所の管理者が集まり、サービス調整会議を開き、ネットワークづくりに努めている。また、愛媛県グループホーム連絡協議会の相互研修に職員が参加し、他のホームとの交流も図られる予定である。	※	今年度GHの相互研修の参加を予定している。9月頃実施予定。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の悩みや意見を取り入れストレス解消に努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 人事考課等を活用し、各人が向上心を持って働き続ける取り組みをしている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居事前調査を行い、本人の不安や希望を聞き受け止める努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族にも事前面接を行い、思いをよく聞き、受け止めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時、必要な対応をとることにしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) カンファレンスを行い、家族と充分相談し、本人が雰囲気徐々に馴染めるようにしている。 (外部評価) 入居申込前に見学があり、申込時に管理者と計画作成担当者が自宅を訪問し、本人と家族に面会する場合と、ホームで面接する場合がある。入居後、不穏がある場合は、家族の協力を得て自宅に外出する等、徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の喜怒哀楽を共にし、昔のことを教えてもらったり、共に支え合う関係をつくっている。 (外部評価) 花、野菜作りで、耕し方や肥料・水の量等利用者の過去の経験を教えてもらう場面をつくっている。職員の感謝の言葉に笑顔で返事が返ってきた時や、職員の帰り際「また明日も来てくれる」と尋ねられた時には、心が癒されるという話を聞いた。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との関係を蜜にし、一緒になって本人を支えていくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族の関係の理解に努め、よい関係づくりを進めている。	※	介護計画の作成、ケアカンファレンスに家族の参加を呼びかけている。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人のこれまでの馴染みの物、人、場所等をよく知り、大切にしよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人ひとりが孤立しないよう皆で一緒に行事を行ったり、外出したりし、共に過ごせる時間を持ち、支えあっている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居した後も関わりを必要とする場合は大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向や、希望をよく聞き把握に努め本人本位に活かしている。 (外部評価) 包括的自立支援プログラムを使って詳細なケアチェックをし、利用者の希望や意向を汲み取っている。センター方式の研修を受講し、アセスメントシートを少しずつ取り入れようと準備している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活歴や馴染みの暮らし方を聞きとり、把握している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 心身状態を把握し、のんびりと自由に過ごしていただく中で出来ることや役割を支援し、現状を把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアカンファレンスには家族の参加をお願いし、本人、家族の意見、希望を取り入れ、介護計画を作成している。 (外部評価) ケアチェック表を基に、担当者と計画作成担当者が介護計画を作成し、処遇検討会で他の職員の意見を取り入れている。利用者本位の介護計画を作成するため、処遇検討会には本人に出席してもらい、意見を聞いている。また、家族にも参加を呼びかけ、3分の1ぐらいの家族が話し合いに参加している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の見直しは3ヶ月毎とし、本人、家族、関係者の意見を取り入れ、新たな計画を作成している。状態変化に応じた随時見直しも行っている。 (外部評価) 担当者は毎月モニタリングをし、3か月ごとに介護計画を見直している。その際、リハビリや排泄、血圧、ケアプランのチェック表も見直しに役立てている。また、状態変化がある場合は随時見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別ファイルを作成し、記録して情報を共有し、介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の状況により要望に応じて支援している。 (外部評価) 協力病院への受診介助をしている。ショートステイの指定を受けており、利用者の退居から新しい利用者の入居までの間、空室を利用する予定であったが、現在空室はなく、待機者も多いため、利用はされていない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員、警察、消防等と協力体制をとっているが、充分とはいえない。	※	今後ボランティア、文化、教育機関とどう協力していくか検討する。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスを受けるまでには至っていない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じて地域包括支援センターと協働している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族等の希望を入れ適切な医療を受けられるようにしている。 (外部評価) 運営法人の理事長がかかりつけ医になっており、毎日訪れて利用者の健康やリハビリに気を配っている。ただし、家族の希望があれば希望する病院を受診できる体制である。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 近くに専門医療機関があり、診断や治療が受けられるようになっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、健康管理や医療活用を行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力医療機関と連携し、情報交換しながら早期退院に向け相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合のあり方について、早くから家族と話し合い方針を共有している。 (外部評価) 本人、家族の意向に沿って、ホームができる限りの支援をしている。重度化した場合や終末期のあり方については、早期に家族と話し合い、方針を決めているが、状況の変化があればその都度家族と話し合い、意向を確認している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医師と共に変化に備えてのチームとしての対応を検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 別の場所へ移る場合は、十分な話し合いを行いダメージを防ぐ努力をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーの確保に努め、記録等の個人情報には充分注意を払っている。 (外部評価) ホームの取り組みを知ってもらうため、家族の同意を得たうえで「ホーム便り」を警察、消防署、市役所、関連施設、近隣のホーム、運営推進会議のメンバー、法人理事等に配布している。昼食時、粉菓を飲む場面や濡れた衣服を交換する場面で、利用者の誇りを損ねない声かけがされていた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望をよく聞き、納得と理解のいく説明と自己決定を尊重し、支援している、		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の希望を最優先して、本人のペースを大切にしながら支援している。 (外部評価) 利用者の希望に沿って、買い物に出かけたり、外出傾向のある方には後ろから見守ったり、入浴拒否の方には時間を置いて誘うなど、利用者本位の生活を支援している。昼食後はテレビ観賞する利用者もいれば、職員と談笑する利用者もいて、思い思いに過ごしている様子がうかがえた。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るよう支援している。散髪は月1回業者が来ている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の希望や意見をよく聞き、食事作りに活かし、職員と一緒に食べている。食材の下ごしらえ等出来ることはしている。後片付けもいっしょにしている。 (外部評価) 鮮魚店、精肉店、八百屋から新鮮な食材を仕入れ、利用者の希望を取り入れながら食事を作っている。準備、下膳、台拭き、食器拭き等利用者ができることを手伝い、職員は感謝の言葉をかけている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の望むものを聞き、別に預り、日常的に楽しめるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) プライバシーに配慮しながら一人ひとりに合わせた気持ちよい排泄が出来るよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望を聞きながらタイミングに合わせて入浴を楽しんでもらっている。 (外部評価) 基本的に週3回入浴している。一方のユニットにリフト浴の設備があり、車いすの利用者も湯船に浸かることができる。体調や利用者の意向で入浴できない時は翌日に変更する等、柔軟に対応している。以前、夜の入浴希望を尋ねたところ、特に希望がなかったため、昼間の入浴としている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの生活習慣を把握し、安心して休息したり、眠れるよう支援してうる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意なことを見つけ出し、それを活かしたり、役割を持ってもらうよう支援している。 (外部評価) 野菜作り、食器拭き、洗濯物たたみ等一人ひとりに合った役割を見つけて支援している。読書や習字、塗り絵等の楽しみごともあり、ボランティアの演奏するピアノ等に合わせて歌を歌ったり、点ててもらった抹茶を飲んだりして、楽しい時間を過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員は本人がお金を持つ事の大切さを理解し、買い物時は本人にお金を支払ってもらう様にしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 外出の機会があれば本人の希望を聞きながら偏りなく外出ができるよう支援している (外部評価) 隣の大きな学習塾のテラスを借りて、車いすの利用者も一緒にボール遊び等楽しんだり、散歩に出かけたりしている。また、買い物や近くの喫茶店、ドライブへも時々出かけて気分転換している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 行事係りが外出行事の計画を作り、家族にも呼び掛ける等外出の機会を増やし支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族や知人に本人から電話したり、手紙を出すなどの支援をしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族を初め馴染みの人達が気軽に立ち寄れるよう雰囲気づくりをしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について勉強会を行い、運営者及び全職員が意思統一して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 建物内部はバリアフリーにしている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員は無断外出しようとする利用者をさりげなく誘導し、居室や玄関に鍵を掛けないケアに取り組んでいる。 (外部評価) 日中は鍵をかけず、玄関のセンサーで外出を察知し、場合に応じてさりげなく誘導したり、後ろから見守ったりしている。運営推進会議で地域包括支援センター職員のアドバイスを受け、目立つ色の履物に変えて、地域の人からの協力を得られるよう配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の安全・安心には細心の注意を払い、さりげなく居場所を確認し、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全てを除去するのではなく、保管方法を取り決め、利用者の状態に応じて取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) あらゆる事故を想定しマニュアルを作り、知識を学んでいる。又ヒヤリ・ハットの活用もしている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 介護教室や勉強会により、事故発生時の対応が出来るように訓練を行っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時近隣の応援体制が得られるよう働きかけている。 (外部評価) 年2回利用者と共に避難訓練を実施している。今年は11月に地域の方と一緒に訓練する予定である。海岸側にあるため、津波の危険を考慮して地震を想定した避難訓練も実施し、すばやく避難場所へ移動できている。緊急時には地域の人々の協力を得られるよう区長へも連絡を入れるように緊急連絡表を作成している。	※	避難訓練には地域から見学に来た。 今年11月の訓練は合同で訓練を行う予定。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりのリスクについて家族と相談し、説明をして抑圧感のない対応策をとっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常の観察を重視し、変化をグラフ化する等して見逃さず報告し対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬について全職員が理解し、症状の変化の確認に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の原因追及に努め、飲食物の工夫や体を動かす工夫をして便秘の予防に努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨きや就寝前の歯磨きを行なう等支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量を記録し、一人ひとりに合った支援をしている。 (外部評価) 関連施設の管理栄養士に栄養摂取量を専門的にチェックしてもらっている。食事の量や水分量を記録し、腎臓病、糖尿病、便秘の悪い方には、それぞれに合った量を摂取できるよう支援している。水分量を確保するため、おやつに飲み物を出している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染防止マニュアルを作成しており、実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、調理器具の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材を使用し、食中毒の予防に努めている。 手洗いの励行も行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口に手造りの案内板を設置し、プランターを置く等して親しみやすく気軽に立ち入りができるよう工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共用空間で利用者が心地よく過ごせるよう季節感を取り入れ工夫している。 (外部評価) ホームは東西に細長い建物で、南北の大きな窓から自然の採光が得られ、明るい。居間は広々としており、座り心地の良さそうなソファや背もたれが長いイスが並べられ、ゆったりくつろげる。また、二つのユニットの中央にあるホールにはピアノやエレクトーンが置かれ、レクリエーションの場になっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間を広くとり一人ひとりが思い思いに過ごしたり、利用者同士で過ごしたり出来る工夫をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅から使い慣れた物を持ち込んだり、お孫さんの作った物を持ち込んだりして、居心地よく過ごせる工夫をしている。 (外部評価) ひ孫の写真飾っている居室、観葉植物や使い慣れた筆筒を置いている居室等、利用者一人ひとりに合った居室になっている。また、転倒の恐れのある利用者の居室にはセンサーマットを置くなど転倒防止の工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 臭いや空気のだよみがないよう、空気の入替え、温度調節をこまめに行なっている。 冬は床暖房をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者の身体機能を生かして自立した生活が出来るよう工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 利用者のわかる力を大切に考え、自立した生活が出来るよう工夫している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の回りには植木があり、庭に花や野菜を造り、楽しめるよう取り組んでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いや願いを気軽に話せる雰囲気があり、全員について意向を掴んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	職員は利用者とはゆったりと過ごすことを考えており、努力している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の生活のペースを職員が強制するのではなく安全を念頭に置きながら一人ひとりの生活のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の支援で生き生きした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望に耳を傾け出来るだけ希望を叶えている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護職員を配置し、理事長（医師）の指示のもとに健康管理を行っており、医療面の不安はない。安全面では職員が配慮し、不安なく過ごしている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者から意見や要望を聞き出し柔軟に支援しており、安心して暮らしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族会、家族会合同行事、ケアプラン立会等により、不安な事や求めていることをよく聞き信頼関係が出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	慰問をはじめ地域からいつでも気軽に来ていただく雰囲気にあり、訪ねて来てくれる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	平成18年6月より2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、地域より代表者3名の参加を得て、徐々に地域の理解者が増えている。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	平成18年度の退職者は1名で職員は生き生きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の聞き取り調査から見て、おおむね満足していると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	H18年度の苦情は1件あり、ご家族の意向に添って解決した。その他おおむね満足していると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

なぎさを一歩西へ出れば瀬戸内海の潮騒と遊歩道、目の前には鹿島、東には雄姿な高縄山があり、ほっと安らぎを与えてくれます。なぎさはこのような位置にあります。

利用者が一番楽しみにしている食事について、美味しい食事作りをめざして、魚は鮮魚店、肉は精肉店、野菜は八百屋から地元の新鮮な野菜を仕入れ、味付けは利用者の経験を聞きながら美味しく作っています。

地域との関係を深めながら「穏やかな環境づくり」を進め、家庭的で安全、安心のある楽しい日々を過ごしています。

健康管理や受診について、家族との連携を密にして、家族の意向にそって受診を行なっている。又、将来の重度化を考え、早い段階から終末期のあり方について方針を共有している。

今年はトマトやピーマン等の野菜をつくり、6月中旬には初収穫しました。

家族会と合同の行事(いもたき会、忘年会)等も大きな楽しみの行事として定着しています。